

KANAGAWA



社団法人 神奈川県建築士事務所協会

URL <http://www.j-kana.or.jp/>

E-mail info@j-kana.or.jp

2011 年
10 月号

VOL.360



HP情報

○「新しい業務報酬基準を活用した業務報酬の算定事例についての補足説明」



目次

① 建築探訪

③～⑥ ⑨ みらいふれあいフェスティバル2011開催レポート

⑦ ⑧ シリーズ ぶらり街並み散策

⑩ 今我々にできることは

⑪ 行政懇談会開催報告

委員長会開催概要

⑫ 料理教室開催報告

シリーズ建築Q&A

⑬ 新入会員紹介

旅のクイズ

⑭ 事務局便り

編集後記

被災された単位会の仲間へ全力の応援を !!

建築探訪

おかめ寺(国宝建築物)

(棟梁の失敗を妻「おかめ」が解決した古いお寺)

川崎支部 恩田 耕爾

おかめ寺は正式名称を「千本釈迦堂大報恩寺」といいます。京都の地図では秀吉が庶民まで参加を促した北野天満宮の東に300mほどのところに位置しています。メジャーなお寺ではないのですが京都市では一番古い木造建築物です。10年程の長きにわたる応仁の乱(1467年)にも戦乱、災火を奇跡的にまぬがれ、すでに750年も存在する建築物です。京洛最古の建造物として国宝にも指定されています。建築に関係するものとして頭の



枅組と四天柱

は大変苦しんだと思われます。高次の苦衷を察し妻の「おかめ」はご本尊様に昼夜の祈りをはじめ、ついに天のお告げにより、全部の柱を短く切りそろえ、その柱の頂上に「枅組」をつけることを提案した。このことが予想外の成果をおさめ、厳粛なる上棟式が行なわれた。棟札の上部には「おかめ」の影面をおさめ、高次によって力強く打ち付けられました。上棟式の棟木には魔除けの飾り物の「幣串」(へいぐし)や「弓矢飾り」が立てられます。また

1

片隅に記憶しておいてもよいと思います。今から750年前、長井飛騨守高次という洛中に名の知れた棟梁がいて、その妻の名前が阿亀(おかめ)でした。貞応二年(1223年)奥州藤原秀衡孫の義空上人が千本釈迦堂の本堂を建立することになり、高次が選ばれました。しかし名匠といわれた棟梁もうっかり寄進された大切な四天柱を一本誤って短く切断してしまいました。上棟式を目前に柱探しに奔走するも適当なものが見つからず、総責任者として



応仁の戦乱を経て残る刀槍傷跡



本堂内部



建屋内のおかめ像



本堂内に陳列されたおかめ面

「おかめ招福信仰」が江戸中期ごろより全国に風びするところとなり、「おかめ面」を作り棟札に附して上げおかめの徳を讃えるようになり、これが上棟式の御幣となり今日もひろく、繁栄と火難消除とし人の知るところとなりました。戦乱の時期、災火を免れたのはこの「おかめ」の功德によると考えられてのことです。昔、とある建設会社の社長さんにおかめの面とタオルを戴いたことから一度、尋ねてみようと考えていました。おかめの面が祭壇右側に沢山並べられています。大きな柱にあちこちに戦乱の刀傷が見られるのも臨場感が沸いて歴史の臨場感がわきます。鎌倉建築の粋を集めた国宝を、桜の季節に「阿亀桜」と「おかめ塚」に建築祈念するのもよいのではと思います。建設業界に従事する方は設計者も施工者も、



阿亀桜

ちよくちよく失敗が付き物ですのでおかめ信仰に預かるのも一法かも知れません。

※失敗学というのがありますが、「おかめ」が災難転じて幸福をもたらしたことから、七転八起、念願成就、開運厄除、立身出世、夫婦円満を祈願し、おかめ塚と千本釈迦堂を訪れる人も多い。

表紙のことば

スクラップアンドビルドの時代が過ぎ、建物の経済的耐用年数を延ばす必要から最近では維持改修工事が多く見られます。古い建築物の調査で小屋裏に建築主と棟梁の名前が書かれた棟札を見ると懐かしい感じがします。お寺の売店では土建屋さんが「おかめの面」とか「手ぬぐい」等を買われていきます。

○●みらいふれあいフェスティバル2011開催レポート●○

みらいふれあいフェスティバル2011

開催についての御礼

このたび発生した東日本大震災の教訓から、防災に対する備えが一層求められている中で、今回「防災への備えは？」をテーマとした『みらいふれあいフェスティバル2011』を去る9月9日～10日の2日間、日本丸メモリアルパークにて開催致しました。

当会(社)神奈川県建築士事務所協会の主催にて、(社)日本建築士事務所協会連合会の共催、そして国土交通省、神奈川県をはじめ県内各行政よりご後援をいただき、また、友好団体である(社)神奈川県建築士会、(社)日本建築家協会神奈川地域会、(財)神奈川県建築安全協会各位による出展等のご協力のもと、来場者が

みらいふれあいフェスティバル2011
実行委員会 委員長 白井 勇

両日あわせて約5,000人にのぼるなど、無事盛会裡に終了する事ができました。また、当会としても各委員会、各ブロックおよび支部のちからが結集したイベントとなりました。

今回のイベントを通じて出た課題などを精査しつつ、このイベントを神事協活性化および社会に対しての発信の手段として今後も活用して参りたいと思っております。

このたびの開催に際し、皆様方におかれましては業務ご繁多の折にもかかわらず多大なご協力をいただき、誠に有り難うございました。今後ともご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

3

みらいふれあい フェスティバル2011 会場 レポート

～フェスティバル当日の様子を
ご紹介します～



開会式



テーブルカット



NHKによる取材

●●みらいふれあいフェスティバル2011開催レポート●●

展示ブース



エコ・デコうちわを作ろうコーナー



横浜市消防局



大盛況の笹造り体験コーナー



日立マルチキャンペーンカーの展示

イベント



キッズダンス



バンド演奏



フラハラ ヒロコ レオラニによるフラダンスショー



横須賀開国甲冑隊によるパフォーマンス



大道芸のクラウン ジュカさん



東郷昌和氏によるライブ

●●みらいふれあいフェスティバル2011開催レポート●●

～フェスティバル当日に行われたセミナーの様子（一部）をご紹介します～

湘南三浦支部 内膳 隆之

◇基礎下減震システム「基礎すべ〜る」のご紹介
講師：ビイック(株) 社長 小島 修 氏



耐震、制震、免震等についての基本的事項の解説、模型の下に実物のフッ素樹脂シートを敷き、振動させて内部の状況を見せていただきました。



また、実際の施工状況も写真をもとに詳しく解説していただきました。

震度7クラスの大地震を震度5強にまで減震させるというこのシステムは、60㎡で150万円（2万5千円/㎡）が標準施工費だそうです。

◇手押しポンプのある生活

講師：(株)セロリ

ディレクター 遠藤 いぶき 氏



実際にライフラインが破壊された際のことを考えると、このような手押しポンプ、雨水樽、古井戸の復活整備等はとても重要なことと痛感させられました。また手押しポンプのデザインも豊富で、水と土と緑の癒しの空間事例はたいへん興味深い内容でした。

◇すべては合格のために

PR：(株)総合資格学院

法人担当 課長 下平 文彦 氏



学科においてもすべて講師による生の授業ということとでなにか親しみを覚えました。

◇液状化対策のメリット及び工法について

講師：(株)都市計画地盤研究会

安藤 彰彦 氏



液状化について、過去の被災事例解説、メカニズム、判定方法及び機関、対策等詳しく解説いただきました。

◇2011木製建具姿図集のご提案

PR：阿部興業(株) 岩月 直人 氏 他



このたび発行された木製建具姿図集についての解説と、製品PR、施工事例の紹介がありました。また姿図集のCADデータは近日発行とのことです。

◇地震と地盤と住宅のおはなし

講師：NPO住宅地盤診断センター

小島 修 氏



2日間のまとめとして、地震、地盤、住宅に関してのお話をいただきました。講師はビイック(株)社長の小島修氏です。

町並み散策ばらり in 神奈川



横浜建築物コレクションめぐり

- ①日本基督教団・横浜指路教会 ②馬車道十番館 ③県立歴史博物館 (旧横浜正金銀行本店)
- ④横浜アイランドタワー低層部 (旧第一銀行横浜支店)
- ⑤東京芸術大学大学院映像研究科 (旧富士銀行横浜支店) ⑥日本郵船 ⑦横浜税関 (クイーンズの塔)
- ⑧横浜開港記念会館 (ジャックの塔) ⑨神奈川県庁本庁舎 (キングの塔)
- ⑩横浜情報文化センター (旧横浜商工奨励館) ⑪日本キリスト教会 横浜海岸教会 ⑫横浜開港資料館



日本基督教団・横浜指路教会/
「ヘボン式ローマ字」を考案したヘボン(正式名ヘップバーン)が中心になって設立された教会。設計・施工はともに竹中工務店で、大正15(1926)年に建てられた。



馬車道十番館/
明治の先覚者でガス事業の創始者でもある高島嘉右衛門家の旧跡に当たる。
店先にある牛馬飲水槽は大正6年、当時横浜の陸上交通の主力であった牛馬のために設けられたもの。



県立歴史博物館/
(旧横浜正金銀行本店)
明治37年(1904)7月竣工。設計者は明治時代を代表する建築家である工学博士の妻木頼黄氏、現場監督は技師工学士遠藤於菟氏。



④ 横浜アイランドタワー低層部
(旧第一銀行横浜支店) /
1929年(昭和4年)に建設されたこの建物は、関東大震災復興期における典型的な銀行建築である。設計者は西村好時氏と清水組設計部。



⑤ 東京芸術大学大学院映像研究科
(旧富士銀行横浜支店) /
設計は安田銀行営繕課。1954年(昭和29年)2月に、創建時と同じスタイルで、南側に増築された。



⑥ 日本郵船 /
昭和11年に和田順顕建築事務所の設計により、日本郵船横浜支店として建てられた。施工は大林組。近代化産業遺産認定。



⑦ 横浜税関(クイーンの塔) /
1934年(昭和9年)3月に完成。県庁より2m高い51mの高さを誇る塔。設計者は国会議事堂を設計した吉竹東里といわれているが、詳細は不明。大蔵省営繕管財局が設計し、担当者が下元連・吉竹東里の様である。施工は現戸田建設の戸田組。



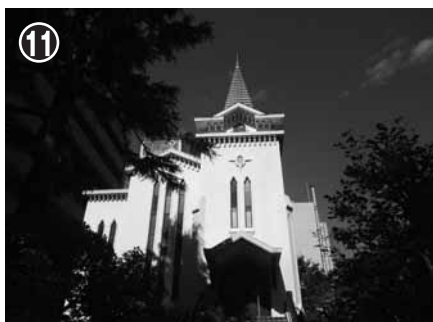
⑧ 開港記念会館(ジャックの塔)
大正6年6月30日に竣工し、赤煉瓦の時計塔(高さ36m)は90年以上も時を刻んでいる。平成元年には国の重要文化財に指定された。



⑨ 神奈川県庁(キングの塔) /
現在の神奈川県本庁舎は第4代目。昭和3年10月に竣工したこの建物は帝冠様式と呼ばれ、国登録有形文化財に指定されている。



⑩ 横浜情報文化センター
(旧横浜商工奨励館) /
昭和4年、市内商工業界の復興と発展の拠点として横浜商工奨励館として建てられたもの。設計は木村龍雄氏を中心とした横浜市建築課、施行は請負業者の岩崎金太郎氏。



⑪ 横浜海岸教会 /
1933年(昭和8年)に建設された日本初のプロテスタント教会。設計は宮内省技師出身の雪野元吉氏。施工は宮内工務店。



⑫ 横浜開港資料館旧館
(旧イギリス領事館) /
イギリス領事館は昭和6年イギリス工務省の設計により建てられた。ペリーが来航して結ばれた日米和親条約は横浜開港資料館の中庭にある玉楠の木の下で行われた。

～ハリウッド映画「摩天楼」をみて～

川崎支部 恩田 耕爾

9日(金)にセミナー会場にて上映されたこの映画は、NPO法人「ライト ウエイ ソサエティ・日本」の協力によって開催されました。

NPO法人の堀様より概略のお話があり、2時間の白黒映画が上映されました。映画はアイン・ランドの小説「水源」を映画化したものとのことでした。映画の主人公の建築家はフランク・ロイド・ライトとされています。映画は主人公の建築家ゲーリー・クーパーと新聞社のオーナーと新聞社に勤務する建築取材記者パトリシア・ニールとの3人の間の愛と日が当たらなかった建築家が自分の意思を貫き通し最後に世に認められるという話で、見ている事務所協会の面々も映画の中の主人公と一緒に輝いたり、恋をしたりしたと思います。小説「水源」

は英語でThe Fountainheadでライトの作品落水荘(Falling Water)がイメージされる。落水荘は学生時代に必ず目にする作品だと思います。なぜ滝を見る位置に建屋を配置しなかったのがずっと疑問でした。私たち日本人は滝を借景に取り入れ滝の対岸に別荘を計画してしまいます。ピッツバーグのデパート王の施主はやはり滝が見える位置に別荘を配置したかったようです。ライトはこれに反して滝の音と周囲の自然の音を聞くことを主眼に滝の岩盤の上にバルコニーをキャンティレバーで滝の上に突き出し水平線を強調するデザインをとりました。落差18mのところから落ちる滝の音を聴きながら、四季を味わう贅沢は日本的な感覚だと思います。構造をむき出しに見せる近代建築の流れからライトの作品はずれていましたが、落水荘、ジョンソンワックス管理棟の設計から彼の存在感が増したようです。映画は落水荘の設計から10年後のワナー・ブラザーズにより製作されたようです。日本丸近辺の屋外展示場は暑いですが、しばらく涼むことが出来ました。



NPO作成の案内パンフレット



映画上映スクリーン

今我々にできることは・・・。

～東北支援バスツアー開催にあたり～

会長 上原 伸一

このたびの東日本大震災から半年を経過した今も、被災地被災者の状況はあまり変わっていないように思われます。被災者の方々は勿論のこと日本中の皆さんが自分自身のこととして一日も早い復旧・復興を待ち望んでいる中で、地震、津波そして原発の事故によってもたらされた未曾有の大災害に対し建物や街に関わる業務を行っている専門家集団である私たちは、被災地や被災民の復旧・復興のために“今我々にできること”の様々な支援を行っていきたいと思います。

震災発生直後から当協会では、日事連および各単位会と連携、また行政並びに他団体と協力して情報収集、情報発信をし、会員の皆様には被災地・被災民の援助、復興のための応急危険度判定、被災度区分判定、義捐金などの支援活動への継続的な協力をお願いしてまいりました。

今回当協会では新たに“今我々にできること”の支援活動として、東日本大震災で中止となった全国大会福島大会が開催される予定だった日程に合わせて、被災された東北支援を目的の東北支援バスツアーを企画し新たな協力をお願いすることとしました。

初めての全国大会の開催担当として待ち望み、精力的に準備を進めていた福島会にとって、地震による会場の被害などで開催が中止となったことは本当に残念な結果と思います。そこで私達は被災者でありながらも献身的に復旧活動や被災者支援活動を行っている我々の仲間である福島会を応援すると共に、開催に協力準備していただいていた地元福島産業の経済支援の一助になればとの思いから支援ツアーを開催することとしました。この事業に賛同いただいて同行していただくことになった東京会ならびに千葉会の仲間と共に、福島会と親睦を深め、福島を励まし、福島を支援していきたいと思います。

東日本大震災は決して他人事ではなく、近い将来の地震発生が懸念されている神奈川県ではいつ支援する側から支援される側に立場が変わるかもしれません。災害に関心が深まる中、“今我々にできること”として地元地域のためにまた私たち自身のために、改めて様々な準備をすることが大切だと思います。そのために今回の東北支援バスツアーは有益な情報を得る貴重な機会にもなっていると思います。

神建国保・料理教室 開催報告

『餃子とトーク』 ～Bien venidos al Mundo del Maesutro Rin～

川崎支部 田中建築設計事務所 田中マルタ

9月17日(土)、神建国保主催の料理教室に上原会長はじめ15名の奥様が初秋の鎌倉に集まりました。会場は瑞泉寺のすぐ脇、住宅街の中にある民家を改造したお店「凜林」です。お寺の隣の中華料理のレストランはミスマッチではとふと思いましたが、後から訳があると分かりました。

教室ですから最初は講義。りん先生の最初の一言“僕は自己紹介が得意です”にみんな大笑い。「食と職」食は生きる事そのものと話されました。一同、同感で常に頭が上下に動いている時間でした。

次は餃子作りの実習です。教え方を工夫されて、細かい手の動きがよく見えるようにと、膝をついた姿勢で頭の後ろで具を包み、参加者に見せるというサービスぶり。和気あいあいと、あっという間に数十個の餃子が焼けました。先生の書と画が踊るレシピもいただきました。

又もとの部屋の戻ると、なんと昼膳のすばら

しいランチが私たちを待っていました。精進料理の技法を使った中華料理です。鎌倉にぴったり合うではありませんか。デリケートな味を、先生の話の聞きながらいただきました。

帰り道は歩いて駅まで戻りましたが、心と舌にうれしい教室の締めにあつた楽しい散歩ができました。



12

建築Q&A 「JWWCADでの操作方法」vol. 3

Q：JWWCADの特殊文字にはどのようなものがありますか？

A：JWWCADの特殊文字には以下のものがあり、以下のように入力をして下さい。

特殊文字	文字入力	文字表示	備考
上付き文字	^u	123.0m ^u2	123.0m ²
下付き文字	^d	X ^d3 F ^dX	X ₃ F _x
重ね文字	^o ^n	1 O ^o 2 O ^n 2 ^o 3 ^n 3	1 O ② ③ 3
	^b ^B	P ^b L P ^B L P ^b L P ^B L	PL P ^B RL R ^B
	^c ^w	^c C ^B L O ^w 2 5	dL ②③
均等割り付け		A B C D E F . . .	A B C D E F 最後に必要の数の“.”
均等縮小	^1 ~ ^9	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ^5	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 最後に付ける
太字	^!	あ ^! いう え ^ #お	あ いう え お ^#の 後は解除
斜体	^/	か ^/ き く け ^ #こ	か き く け こ ^#の 後は解除
下線	^□	さ ^□ し す せ ^ #そ	さ し す せ そ ^#の 後は解除
消し線	^-	た ^- ち つ て ^ #と	た ち つ て と ^#の 後は解除

特殊文字は他のCADとは互換性がないので、JWWCAD内のみで使えます。

(作成：木造特別委員会)

新入会員の紹介

入会されました会員のかたがたのプロフィールを紹介致します。

設問の内容

- ①故郷又は出身地はどこですか？
- ②得意とする業務の分野は？
- ③神奈川県内か、あなたの支部の地域の印象的な建物は？
- ④神事協やあなたの支部に期待していることは？
- ⑤あなたにとって、21世紀はどんな時代ですか？
- ⑥「モッタイナイ！」と思ってしまうことは？
- ⑦あなたの血液型は？

横浜支部

AY設計室

小野 綾子
(23年8月入会)



- ①川崎市
- ②木造、民家再生
- ③横浜市開港記念館
- ④連携・協働
- ⑤新たな価値観とエネルギーの時代
- ⑥古民家の解体・取り壊し
- ⑦AB型

藤沢支部

松藤一級建築士事務所

松藤 公昭
(23年9月入会)



- ①広島県
- ②工事監理・既存建物調査等
(ゼネコンにいた経験から)
- ③開港記念館、県庁本館
- ④地元の住民への認知度向上
- ⑤フルマラソンを完走する気分
- ⑥二歳の孫が残す食べ物
- ⑦A型

13

問題 旅のクイズ 第15回

横浜市にある茅葺屋根を持つただ一つのこの神社は、何区にある何という名の神社でしょうか？

答えをメールまたはFAXにて神事協事務局までお寄せ下さい。正解者の中から抽選で御一人に1000円の図書券を差し上げます。

(FAX: 045-212-3807)

E-mail: noguchi@j-kana.or.jp)

※締め切り: 平成23年10月20日(木)

当選者は11月号にて発表予定です。

※広報情報委員と事務局員及び家族の方のご応募はご遠慮ください。

前回(9月号)の正解は下記の通りです。

正解: 高松市の「四国村」にある『砂糖しめ小屋』です。砂糖しめとは、サトウキビの汁をしぼるという意味です。

正解者: 残念ながら正解者はありませんでした。



会員異動報告	
入会	
川崎支部	
系一級建築士事務所 〒211-0045 川崎市中原区上新城2-2-1吉田ビル3F TEL.044-797-5122 FAX.044-766-6871	河本 義彦
退会	
横須賀支部	
(株)井上建工二級建築士事務所	井上 信二
湘南三浦支部	
H I R O設計室	久居ひろ子
相模原支部	
(有)志南建築設計室	志南 拓二
共済会友異動報告	
退会	
平塚支部	
	小沢 孝一
賛助会員異動報告	
退会	
三洋工業(株)横浜営業所 (株)ナオキヤリフォーム	

会 勢		平成23年10月1日現在			
支部名	平成23年3月末日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	270	272	8	6	2
川 崎	91	95	7	3	4
横 須 賀	55	51	0	4	-4
湘 南 三 浦	21	18	0	3	-3
藤 沢	22	23	1	0	1
鎌 倉	32	34	3	1	2
茅ヶ崎寒川	16	17	1	0	1
平 塚	21	22	1	0	1
伊 勢 原	8	8	0	0	0
秦 野	18	18	0	0	0
大和綾瀬	22	20	0	2	-2
厚 木	37	36	1	2	-1
座 間	13	13	0	0	0
海 老 名	13	14	1	0	1
愛 川	9	8	0	1	-1
相 模 原	88	84	1	5	-4
県 西	49	46	1	4	-3
合 計	785	779	25	31	-6
賛助会員	68	71	10	7	3

10月の行事予定	
10月3日	一般社団法人移行における支部説明会 (横浜支部・横須賀支部・平塚支部・秦野支部・大和綾瀬支部)
4日	広報情報委員会
5日	公益法人制度改革対応専門委員会 設計監理指導委員会
6日	賛助会事業計画検討会
7日	総財務委員会 建築実務ガイドブック「机の隅に」講習会 (会場:小田原市川東タウンセンター・マロニエ)
11日	家づくりセカンドオピニオン特別委員会
12日	一般社団法人移行における支部説明会 (川崎支部・厚木支部・座間支部・愛川支部・相模原支部)
13日	正副会長会 理事会 みらいふれあいフェスティバル実行委員会
15日	神事協スポーツ大会(中ブロック)
18日	景観まちづくり特別委員会 建築物等耐震改修評価特別委員会
19日	企画業務委員会
20日	技術調査委員会
21日 ～22日	東北支援バスツアー
25日	ブロック支部委員会(湘南ブロック) 支部長合同ブロック支部委員会(湘南ブロック)
26日	一般社団法人移行における支部説明会(伊勢原支部) 木造特別委員会 建築物等耐震改修評価特別委員会
27日	中間監査会
28日	新規開設建築士事務所講習会(会場:神事協会議室)

編集 後記	中秋の名月と歌われ、澄んだ夜空の月を眺めるのに いい季節となりました。
	先日、みなとみらいフェスティバルが2日間にわたり会 員協力のもと、多くの参加者を動員して開催されました。そ の中の一つの会場では一般の市民の身近にあった液化化と地 震のゆれに関する不安が多く質問され、財産と命の安全に対 する対応費用の話題が多く語られました。「高い階に住んで いるが、地震のゆれと避難は大丈夫か」等日頃の住み手側か ら専門家としての返答を期待しています。技術的な問題だけ ではなく対応する資金の問題まで話しは進みましたが、決定 的な解決法は答えられないもどかしさを感じました。同時に 我々建築士の責任の重さを考えさせられました。 (平塚支部 新倉 良一)

かながわ 平成23年10月号(通号360号)

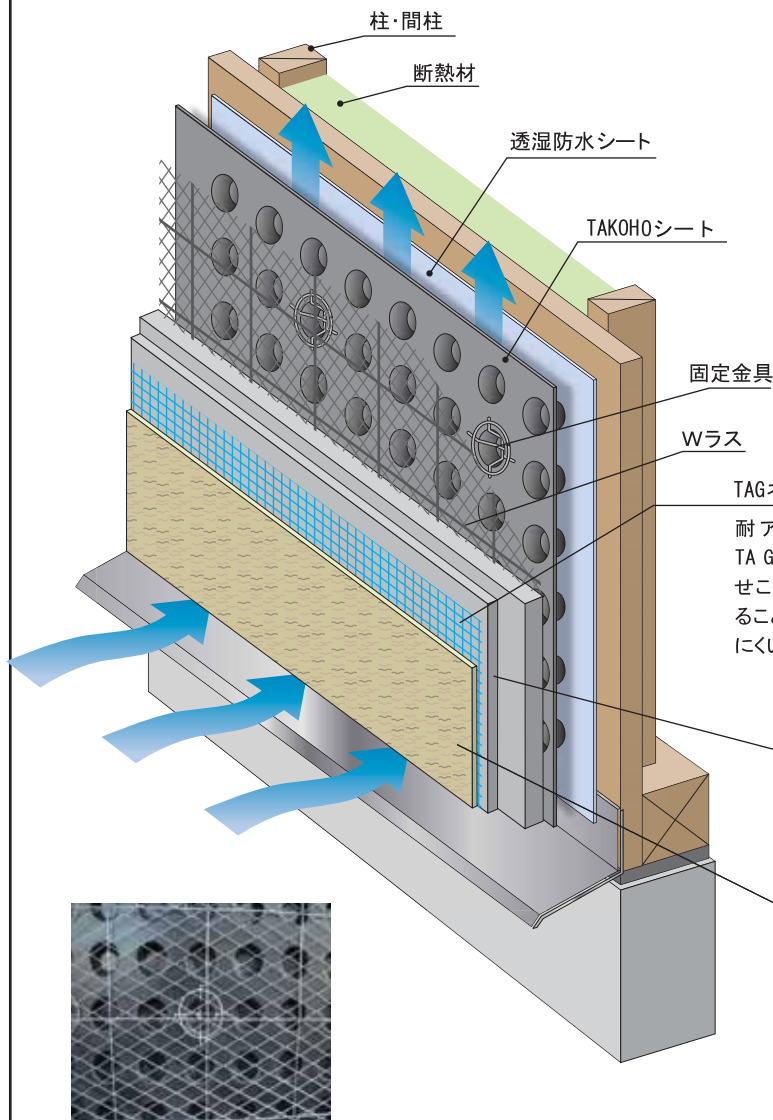
発行 平成23年10月1日(毎月1日発行)
発行人 上原 伸一
発行所 社団法人 神奈川県建築士事務所協会
〒231-0032 横浜市中区不老町3-12
第3不二ビル2F
TEL. 045-228-0755
FAX. 045-212-3807
印刷所 株式会社 柏苑社

・担 当 副 会 長 芝 京子
・広報情報委員長 佐藤 光良
・広報情報副委員長 内藤 隆之
・広 報 情 報 委 員 稲葉 勉 恩田 耕爾
・ 杉崎 義夫 小泉 厚
・ 竹尾 雅治 高橋 保博
・ 野口 秀一 新倉 良一
・ 友弘 坂本 歩美
・ 事務局

TAKOHO

止水機能付き

モルタル外壁に通気層を設け、耐久性・耐クラック性能に大変すぐれた
長期的に優良な住宅を実現するモルタル外壁です。



胴縁・補助胴縁の資材が不要で、環境にやさしい

通気層と高い防水性で、高耐久な住宅

クラックの発生しにくい材料の採用と構造

効率的な工法で、コストの低減を実現

頑丈な通気層を確保

TAGネット（耐アルカリガラス繊維ネット）

耐アルカリ性能にすぐれたTAGネットをモルタル全面に伏せこみ、モルタルと一体化させることで、よりクラックの発生しにくいモルタル外壁になります。



ラスモル（既調合軽量モルタル）

防火構造・準耐火構造の国土交通大臣認定品で防火性能に優れたモルタルです。安心してお使いいただけます。

外装仕上げ材

多彩な仕上げ材からお選びいただけます。



モルタル外壁のための「通気工法」です。
モルタルが通気層を形成するので耐久性が大幅に向上します。

富士川建材工業株式会社 <http://www.fujikawakenzai.co.jp/>
〒236-0002 神奈川県横浜市金沢区鳥浜町13番地
TEL:045-772-1811 FAX:045-772-0467 E-Mail:mail@fujikawakenzai.co.jp